



こもれびの森 ウッドランドクラブ通信 8月号

宮城県こもれびの森森林科学館 2013年8月25日(発行責任者 島貫房雄)
栗原市花山字草木沢角間10-7 Tel/Fax0228-56-2330
<http://mifi.main.jp/komorebi.htm>

●先月 28 日は夏休み最大のイベント・・・「川遊び&ディキャンプ」が行われました。当日は朝からはっきりしない天気でしたが、親子中心にたくさんの方の参加で大盛況でした。小川にイワナを放し、捕ったイワナは自分でさばいて塩焼きにしました。「自分で魚をさばくの?」子どもたちは興味津々、でも嫌がる子はいません。流しソーメンではミニトマトやキュウリ、ソーセージも流れ、子どもも大人も大喜びでした。園内ではトンボを捕まえたりカブトムシやクワガタを見つけたり、小川ではイモリを取ったりする親子も。クラフトコーナーは、夏休み宿題の作品作りで満員状態。

●8月18日には、前回定員オーバーで参加できなかった方中心に同じバージョンで夏休み第二弾! を行いました。初参加の親子は、イワナつかみや魚さばきも体験できて大興奮! 園内では、虫捕り網を手にした子どもたちが一日中走り回っていました。

当館の周囲には川や池、草地がありトンボ類は多く生息しています。特にオニヤンマはけっこう飛んでいます。その飛翔能力と安全性はオスプレイよりも格段に上で、見事に虫を捕えるシーンも見られました。正義感の強い(?) 私は、生物保護のため、オニヤンマを捕えてきた子どもに逃がす条件で竹笛を上げました。・・・竹笛欲しさに捕まえてくる子もいて、じえじえ。

今回もサポーターや会員の方のご協力で無事終わりました。職員の事前準備は相当なモノ、良く頑張ってくれました。

(イワナは花山漁協さん、自然薯の館さんからのご提供です。書面を借りて御礼を申し上げます)



子どもたちは何と云っても、川遊びが大好き



とったどー



恒例のスイカ割りでごさあーい
スイカ割りは海だけでなく山でもやれます



大人気の流しソーメン



魚さばきはもちろん初体験

竹串に刺したイワナをジックリ焼き上げます
「味は普通の塩焼きと違うぜよ!」



「千年クロベ」その巨大さにビックリ

しま所長のコラム

●当館では、古くなった看板などの取替えをしています。その一環として、樹名板(この木なんの木?)も新規で付けました。山本職員が昨年からの構想でやってくれました。New 樹名板の表と裏には樹名の由来など丁寧な説明が書いてあります。一見の価値ありです。来館の時には是非ご覧になってください。

●先月、有志 8 名と「千年クロベ」を見に行ってきました。その大黒^{くろひのき}檜の居場所は世界谷地から「古道の道コース」へ、その奥の又奥にあります。幹回りは何と 9m50cm、樹齢千年で日本一。日本固有種なのでおそらく世界一? 空洞は有に大人が三人くらいの広さ。その「山の主」の発見されたのが平成に入ってからとか、山の奥にひっそりと佇んでいました。

帰りには地元でイワナ養魚をやっているKさんのところで、イワナづくしの料理を堪能しました。イワナ丼は絶品!

(ご協力: 数又イワナ養魚場、現在イワナづくし料理のキャンペーン中です)

・・・これからの「こもれびの森ウッドランドクラブ」のご案内!

●9月29日(日) 初秋の自然観察会とお茶会

※定員30名、参加費500円。10時~13時頃、場所は森林科学館とその周辺です。

★お申込みお問い合わせは、当館までお電話かFAXでお願いいたします。